

2024年度事業報告

1. 公益目的事業

(1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

■国際理解講座 Global Understanding 沖縄フィールドワーク

内容：沖縄戦の歴史と米軍基地問題について各地を訪れて学ぶ体験型学習

期間：5月3日～5日

受講者・参加者数：学生5名(うち国際学舎4名・シンガポール/アメリカ、大学院生1名)

■日中韓大学生相互交流ワークショップ2024 in 京都

内容：3カ年計画で始まった日中韓大学生相互交流ワークショップ。今年度は京都にて日本・中国・韓国から集まってきた大学生が国際交流を行った。相互交流ワークショップ、フィールドワーク、パネルディスカッションなどを通じて、異なる文化に触れあいながらお互いについて理解し合う学びの多いプログラムとなった

期間：8月19日～25日

参加者数：27名(日本から10名、中国から4名、韓国から13名)

■年中行事を楽しむ会 Feel Japan

留学生が日本の文化や風習を体験し、国際理解を促進するプログラム

(歌舞伎鑑賞)

期間：6月20日

参加者数：計14名参加(引率4名、留学生10名)

内容：ほとんどの参加者が歌舞伎鑑賞は初めてで興味津々だった。専門用語が多かったが、英語による解説付きだったので楽しく日本文化が楽しめた

(七夕イベント)

七夕を迎え、3号館1階ロビーに笹と短冊一式を用意した。留学生たちは、笹飾りをしたり、短冊に願い事を書いたりと積極的に参加してくれた。今年度も日本語ボランティアの会の参加者たちにも願い事をたくさん書いてもらった。短冊には、大学生活や就職がうまくいくことを願うもの、コロナ禍の終息を祈るものなど、それぞれの大切な願い事がたくさん書かれていた

(ひな祭り)

5号館ロビーにひな祭りの展示を行った

■企画展 祈りの人 渡辺禎雄型染版画展～齋藤治子コレクション～Vol.8

故齋藤治子氏のご遺族より寄贈された作品のなかからイエスの生涯の各場面を表した作品を展示

会場：スコットホールギャラリー

期間：12月12日～17日

来場者：50名

(2)国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

■日本語ボランティアの会

内容：2024年度は対面クラスとオンラインクラスを並行した。ボランティアの減少に伴い、予約制度を導入し事前にマッチングする形で活動を続けた。今年度は、ボランティアの募集も積極的に行い、数名新規入会があった。ボランティアが熱心に学習者を教え、日本語を必要としている人たちの大切な居場所となった

活動日：水曜日2クラス、金曜日1クラス

活動期間：4月3日～2025年3月21日

参加人数：合計84日(水曜日42日、金曜日42日)の授業日があった

のべ参加人数はボランティア866名、学習者1784名

活動方式：対面授業とオンライン授業を並行

■野宿者支援給食活動(共催)

月2回の給食活動の食事準備、配食のボランティア活動を通して、貧困や生存権の問題を身近に感じた。準備に349人、配食に389人が参加し、4,010食のお弁当を準備し、3,083人の方に保存食などと一緒にお渡しした(すべて年間のべ人数と食数)。他団体の活動減少の影響を受け、配食数が増えている。保存食は学校の備蓄(聖望学園中学校・高等学校他)やNPO法人セカンドハーベスト・ジャパン、日本福音ルーテル帯広教会、そのほか個人からの寄付が多くあった。また早稲田教会の献金により新しく車両を取得し、より多くの物資と人の移動が可能になった。2024年度の大きな変化として感謝を持って記したい。

(3)国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

■多文化共生について考えるワークショップー地域日本語教室で活かせるアクティビティとともにー

多文化共生についての理論知識を学びそれについて参加者間でディスカッションしながら、多文化共生社会の創生に資するためにどのような支援ができるのか、地域日本語教室活動を例に模索した。

期間：5月25日～7月20日全4回、対面形式

受講者数：7名

講師：福村真紀子(茨城大学大学院助教、親子サークル「多文化ひろば あいあい」代表)

■Let' s 朗読

朗読の基本や声の出し方などを学び、元気を養い、詩や物語の世界で感性を磨く。コロナの状況も落ち着いたため、全8回全て対面クラスで実施した。受講生も朗読の発表会などに向けて練習に励み、目標に向かって着実に実力をつけている

期間：通年で前期・後期各8回開催

受講者数：前期7名、後期6名

講師：飯島晶子(朗読家「VoiceK」主宰)

■パイプオルガン・アカデミー

期間：4月1日～3月31日までに80レッスンと第二回オルガンアカデミー発表会レッスンを実施

受講生：11名

講師：水野均(桐朋学園大学講師、早稲田教会オルガニスト)

協力：早稲田教会

■STUDY HALL

(STUDY HALL vol. 42 僕たちは友だちなんだ-幸せなら手をたたこう誕生秘話シンポジウム)

いのちのことは社から出版された漫画「幸せなら手をたたこう 誕生物語」(西岡由香著、木村利人監修)を記念したシンポジウムを開催。木村さんはご自身が奉仕園学生会で活動され、YMCAのワークキャンプでフィリピンを訪れた際に「幸せなら手をたたこう」の着想を得たと話された。シンポジウムの様子は後日奉仕園のYouTubeで限定公開した

実施日：4月6日 14:00～16:30

参加者：90名

登壇者：木村利人(早稲田大学名誉教授)、伊藤千尋(国際ジャーナリスト)、西岡由香(漫画家)、
植村隆(ジャーナリスト)

共催：いのちのことは社、東京YMCA、日本聖書協会、キリスト新聞社、恵泉女学園大学、
イエズス会社会司牧センター、

協賛：ピースポート

(STUDY HALL vol. 43 Visibility, Belonging and Identity-見えること、いること、存在すること- 映画「エミリーとブレーキー」上映&トーク + ミニLIVE)

社会への違和感、自身の葛藤や孤独などを歌にしてきたシンガーソングライターで映像作家の三浦アークさん。映画『キクとイサム』にも出演した歌手の高橋エミさんをゲストに招き、彼女達

にとって「音楽」とは何か、世代を超えて、語り、歌で繋がる一夜限りのコラボレーションイベント

期間：12月6日 19:15～20:45

参加者：45名

登壇者：三浦アーク(シンガーソングライター・映像作家)、高橋エミ(歌手)

■オンライン・聖書講座－『LGBTQ+とキリスト教：性と生の正義に向けての聖書の読み直し』

(共催)

2018～2023年度まで開催した聖書講座の後継として開催した。講師の著作『虹は私たちの間に：性と生の正義に向けて』(新教出版社、2008年)をテキストに、個性と自由の尊重を目指し聖書学の専門的な分析や解釈を学んだ

期 間：通年毎月第2火曜日全10回

受講者数：56名

講 師：山口里子(聖書学者)

共 催：日本クリスチャンアカデミー関東活動センター

(4)学寮運営事業(友愛学舎・ゲストハウス)

■友愛学舎

舎生数

2024年度は4年生3名、3年生4名、2年生3名の在寮生に加え、新1年生3名を迎えて計13名でスタートした

活動

朝の会：学期期間中の月曜日から金曜日の基本7時から7時30分まで。聖書研究・マルコによる福音書及び学生表も行った。毎月第1金曜日は信愛学舎と合同礼拝を行った

舎生会：毎月1回開催、友愛活動・生活について話し合った

年間活動：4月の活動開始に向け、新入生を含めたオリエンテーションキャンプを鎌倉にて実施し、寮生活の意義や奉仕園や友愛学舎の歴史を学ぶ機会を持った。夕方の会のゲストとして奉仕園常任理事を招き、現役舎生も興味深く話を伺うことができ盛会となった。

協力

古賀博牧師、中澤重光宣教師に聖書研究のほか寮運営全般のアドバイザーとして奉仕いただいた

■キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による超教派の学生寮のネットワーク。友愛学舎を含む10学寮(信愛学舎、山手学舎、山上学寮、東京ティラナスホール、登戸学寮、春風学寮、東大YMCA寮、

一橋YMC A寮、同志会学生寮)の担当者による会合は開催できなかったが、見学や入寮希望の問い合わせ等で連携を取った

■ゲストハウス

1号館2階201～207号室の計7部屋を運営。24年度はのべ8名が在寮した。新たに4名が入寮し、3名が退寮した

(5)早稲田大学との協力による学寮運営事業(国際友愛学会)

■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮。レジデントアシスタント(RA)のRAコミュニティールーム滞在は日時を定めず事前告知制に変更のうえ再開された。早大学生生活課の呼びかけで早大寮・西早稲田寮・奉仕園の3寮で合同ミーティングを定例で持ち、情報共有に努め柔軟な対応にあたった

2024年度国・地域別居住者数(合計257名、38の国と地域、RA含む)

アメリカ	61	中国	27	イギリス	21	韓国	19
ドイツ	18	日本	17	台湾	15	フランス	8
イタリア	6	カナダ	6	シンガポール	6	スウェーデン	6
オーストラリア	4	スペイン	4	タイ	4	オランダ	3
香港	3	デンマーク	3	ルーマニア	3	フィリピン	3
アイルランド	2	ベルギー	2	イスラエル	1	インド	1
インドネシア	1	オーストリア	1	スイス	1	チェコ	1
トルコ	1	ノルウェー	1	パプアニューギニア	1	ハンガリー	1
フィンランド	1	ブルガリア	1	ベトナム	1	ポーランド	1
マレーシア	1	ルクセンブルク	1				

研究員14室に対し51名、染谷会館8室に対し38名分の滞在実績となった。

■ウェルカムパーティー

4月5日にRAの主催によりウェルカムイベントを行った。5年ぶりにリバティホールで行ったが50名ほど参加した。軽食を取りながらゲームをしたり寮生同士の交流が深まった

10月4日に友愛舎生の主催によりリバティホールでウェルカムパーティーを行った。100名ほど集まり、自己紹介したり、ゲームをしたりと楽しい交流の時間となった

■奉仕園クリスマス会

12月14日に開催した。寮生を中心に50名ほど参加し、心温まるひと時を過ごした。スコットホールでの「しずかなひととき」、留学生やRAによるカラオケ大会、友愛学舎生に友愛劇などでとても充実したプログラムとなった。その後3号館ロビーにてピザパーティーを行った

■お弁当イベントー【Chill out with Obento ココロもカラダも癒される Hoshien ランチ】

5月23日と1月16日に計2回行った。留学生、RA、友愛舎生と職員が参加した。イベントでは、早稲田奉仕園が長らくお世話になっている早稲田の老舗「たかはし」が心を込めて作った二重弁当を用意した。初めて和食のお弁当を食べるという留学生も多く、弁当箱の小さな仕切りごとに詰め込まれた多様な食材に、日本の食文化の奥深さを実感している様子だった。食事をしながらの交流タイムを通じて、留学生たちが互いに親睦を深める貴重な時間となった

■留学生スキー研修@万座温泉

群馬県にある万座温泉を訪れ、スキー・スノーボード体験をした。初めてスキーを体験する留学生はボランティア講師・福村真紀子先生の指導により、楽しみながら上達することができた。美味しい食事と温泉を満喫し、参加者間で懇談する時間を持つことができ、よい交流の会となった

人数：計15名(交換留学生11名、RA1名、友愛学舎1名、ボランティア講師1名、職員引率1名)

日程：2025年1月11日～12日1泊2日

2. 収益事業

(1) 駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■不動産賃貸事業

月極駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。通年満車の契約をいただいている

■早大染谷会館管理

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応を実施

(2) 会議施設及びホール施設の貸与事業

■施設の貸与(会議室・ホール・ギャラリー)

利用内容は、会議室・ホールは学習会、語学教室、音楽練習やコンサート、講演会など多岐に渡

っている。スチールは半数以上が婚礼前撮り業者となり、フォトウエディングの需要が顕著である。安定的にファッション雑誌・カタログ利用が多かった。

(撮影利用件数実績)

	スチール	動画	合計
2024年度	87	21	108
2023年度	107	6	113
2022年度	120	14	134
2021年度	124	21	145
2020年度	49	30	79
2019年度	33	14	47

■施設・備品

スコットホールの改修工事では経年劣化していた階段・廊下部分の赤絨毯を剥がし、23年度と同様の改修工事の残存部分をおこなった。元の木目を生かしたものとなった

■早稲田スコットホールギャラリー

絵画展だけでなく様々なジャンルの展示利用やリピーター利用も増加した

2024年4月10日～4月14日 STILL ビルマ(ミャンマー)人難民画家マウンマウンティン絵画展
2024

2024年5月31日～6月5日 透きゆく明日(布織物)

2024年6月22日～6月30日 鈴木大喜 写真展 gift from camino

2024年7月16日～7月20日 ウラジミール・ナセトキン展《ヴェネチア詩篇》

2024年10月10日～10月13日 祭ばやし展(書道)

2024年10月24日～10月27日 Contemporary Japanese Violin Makers(楽器)

2024年11月6日～11月11日 モザイクアートの多様性ーイタリアと日本のはざままで

2024年11月12日～11月16日 川口恭子作品展～型染と型紙～

2024年11月22日～11月24日 花教室ゆめはな・フラワー教室花音 5 教室合同作品展
HAPPY CHRISTMAS 私達からの贈りもの

2024年11月27日～12月1日 永遠に決まらないかたち(絵画)

2024年12月6日～12月8日 株式会社ファム サロンコンサート&アンティーク展 冬の音楽散歩

2024年12月12日～12月17日 渡辺禎雄型染版画 - 齋藤治子コレクション Vol.8

■セミナープログラム(協賛を含む)の開催

(企画展)

祈りの人 渡辺禎雄型染版画展～齋藤治子コレクション～Vol.8

故齋藤治子氏のご遺族より寄贈された作品のなかからイエスの生涯の各場面を表した作品を展示

会場：スコットホールギャラリー

期間：2024年12月12日-12月17日

来場者：50名

(チャリティ古本市)

古本市は常設開催しており 2024年度の売上12,050円で、2025年度の売上と併せて社会慈善団体に寄付する予定。

(スコットホール公開日・ガイドツアー)

5月と10月の年2回開催、5月開催は初めてであり、参加人数はガイド付き見学は19名、見学のみは18名と少なかった。日比谷花壇さんと共催してギャラリーではコーヒーサービスを行いつつウェディングフォトと葬儀のご案内をした。10月は例年通りガイド付きツアー55名、見学のみ54名参加

期日：春季5月30日、秋季10月26日

来場者数：抽選、事前予約制・満席、延べ人数160名

(所蔵作品の貸出)

キリスト教美術の振興・発展および作品を通じてのキリスト教思想・文化への理解促進を目的として、渡辺禎雄型染版画を中心に所蔵作品の貸出事業を5月に開始した。

12月に房総にあるギャラリーに7点の作品を貸出した

3. 公益目的事業・収益事業共通業務

■業務管理システム等の整備

各部署の事務作業のデジタル化を継続している。勤怠管理とAIの導入について検討し準備を進めている。

4. 法人総務

■財団会議

①理事会

第1回定時理事会(2024年6月6日)

第1号議案 2023年度事業報告及び計算書類承認の件

第2号議案 早稲田大学との第1国際学舎賃貸借契約及び管理運営に関する契約の件

第3号議案 公益目的事業会計剰余金の処理に関する件

第4号議案 常任理事人事の件

第5号議案 ワーキンググループ答申に関する件

第 6 号議案 専務理事報酬の件

第 7 号議案 2024 年度定時評議員会開催に関する件

第 2 回定時理事会(2025 年 3 月 6 日)

第 1 号議案 2025 年度事業計画及び予算に関する件

第 2 号議案 スコットホールの維持保全事業に関する件

第 3 号議案 スコットホール募金に関する件

第 1 回臨時理事会(2024 年 7 月 30 日)

第 1 号議案 評議員人事の件

第 2 号議案 臨時評議員会開催の件

第 3 号議案 寄付申込の件

②評議員会

定時評議員会(2024 年 6 月 24 日)

第 1 号議案 2023 年度事業報告及び計算書類承認の件

第 2 号議案 専務理事報酬の件

第 1 回臨時評議員会(2024 年 8 月 7 日)

議案 評議員人事の件

③常任理事会

第 1 回常任理事会(2024 年 5 月 24 日)

第 2 回常任理事会(2024 年 7 月 18 日)

第 3 回常任理事会(2024 年 9 月 19 日)

④評議員理事監事懇談会(2024 年 11 月 21 日)

日中韓プログラムの報告、スタディホール計画、寮事業の現在と課題等を報告

⑤職員会

原則毎月第 1 及び第 3 火曜日

⑥マネージャー会議

原則毎月第 2 週を除く毎週開催

■監査

監事監査：5 月 17 日(決算)、11 月 28 日(期中)

関口英二郎公認会計士による外部監査：4 月 3 日(実査)、2 月 21 日(期中)、

5 月 16 日・17 日(決算)、3 月 22 日(期中)

■月次会計報告

石橋税務会計事務所と毎月 1 回会計、財務の打ち合わせを行う

■役員等人事

①6月6日付

常任理事：(新任)吉原洋

②8月7日付

評議員：(新任)天田信義

■登記

石川良一評議員退任及び天田信義評議員就任登記(8月27日)

■行政庁(内閣府)諸届

2023年度事業報告等の提出(6月28日)

2024年度事業計画書等の提出(3月28日)

■早稲田奉仕園賛助会員

88名に加入いただいた

■広報

年次報告書(2024年8月10日)、奉仕園通信は87号(2025年3月15日発行)、ホームページの更新及び「奉仕園スタッフのブログ」の掲載を随時おこなった

■早稲田正午礼拝

近隣教会やキリスト教諸団体の職員等毎回30から40名の参加がある。近隣団体関係者にメッセージを依頼している